

SpeI制限酵素

Cat. No. SREG-0001

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明	SpeI制限酵素は、ゲノムDNA、プラスミドDNAおよびPCR産物を配列特異的に切断するための迅速な組換えエンドヌクレアーゼです。
用途	ゲノムDNA、プラスミドDNAおよびPCR産物の迅速制限酵素消化。
別名	SpeI; SpeI制限エンドヌクレアーゼ; SpeIエンドヌクレアーゼ

製品情報

由来	遺伝子組換えにより作製された組換え制限エンドヌクレアーゼ
特異性	認識配列: 5'-A [^] CTAGT-3' / 3'-TGATC [^] A-5'; 5'-CTAGのコヒーシブエンドを生成する。
機能	SpeI認識部位において二本鎖DNAの配列特異的切断を触媒する。
基質	SpeI認識部位を含む二本鎖ゲノムDNA、プラスミドDNA、およびPCR産物。
反応	5'-A [^] CTAGT-3' / 3'-TGATC [^] A-5' → 5'-CTAGコヒーシブエンドを有するDNA断片
備考	DNA調製物中に残留するエタノール、クロロホルム、フェノール、SDS、またはEDTAは、消化効率を低下させる可能性があります。高度にスーパーコイル化したDNA、ゲノムDNA、複数の認識部位を有するテンプレート、またはDNA末端近傍に認識部位が存在する場合は、より多量の酵素またはより長時間のインキュベーションが必要となることがあります。他の反応成分を添加した後に酵素を添加してください。
プロトコル	1. 選択した反応バッファーおよびDNA基質を用いて、DNA消化反応混合液を調製する。2. SpeI制限酵素は最後に添加し、よく混和した後、チューブ底部に液をスピンドウンして回収する。3. 配列特異的なDNA切断を完了させるため、5〜15分間インキュベートする。4. カラー反応バッファーを使用する場合は、消化産物をそのままアガロースゲルに直接ロードする。
利点	Rapid 5-15 minute digestion; compatible with a universal buffer system; supports multi-enzyme digestion; color-buffer reactions can be loaded directly for gel electrophoresis.
使い方	クローニング、DNA解析および関連する分子生物学ワークフローにおける迅速な制限酵素消化用。

使用法とパッケージング

包装	50件の有害事象
----	----------

保管・発送情報

保存方法	-30℃~-15℃で保存すること。
輸送条件	0℃以下で輸送してください。